

2013年4月24日

楽天リサーチ株式会社

よく貰うものと、本当は貰いたいものにギャップ

母が求めているのは子どもと一緒に過ごす時間

- 母の日に関する調査 -

URL: <http://research.rakuten.co.jp/report/20130424>

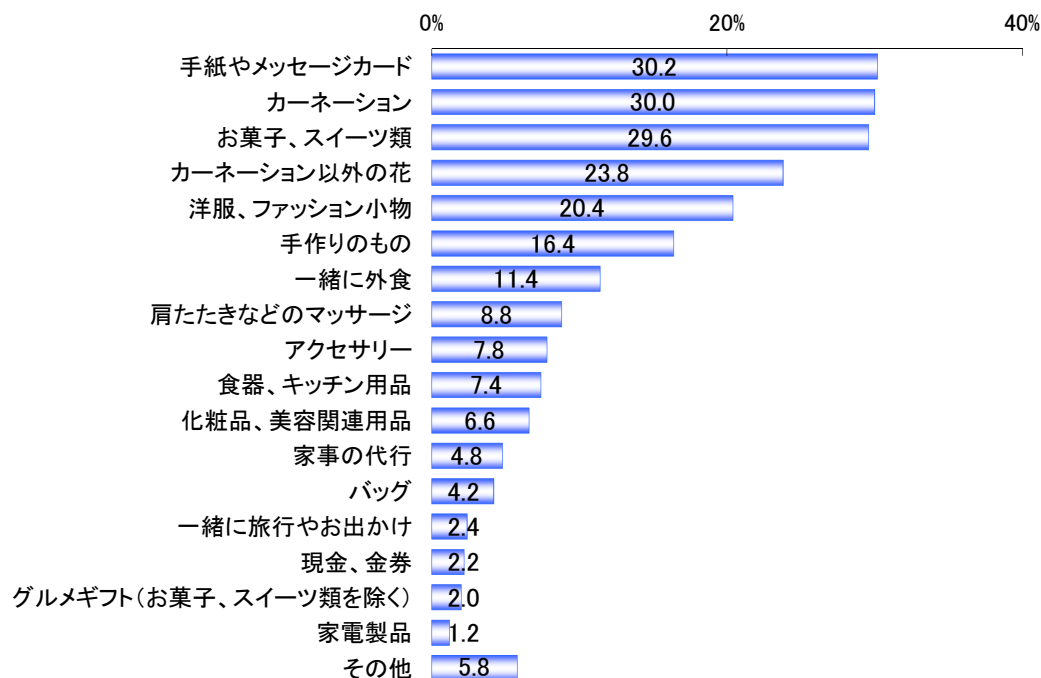
楽天リサーチ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：森 学）は、母の日に関するインターネット調査を実施しました。今回の調査は、4月18日から19日の2日間、楽天リサーチに登録しているモニター（約230万人）の中から、小学生以上の子どもを持つ20歳から69歳の母親計500人を対象に行いました。

■□ 調査結果 □■

■母の日に子どもからよく貰うもの（してもらうこと）上位は「手紙やメッセージカード」、「カーネーション」、「お菓子・スイーツ類」

母の日の贈り物として、これまでに貰うこと（してもらうこと）が多かったものを聞いたところ、1位「手紙やメッセージカード（30.2%）」、2位「カーネーション（30.0%）」、3位「お菓子・スイーツ類（29.6%）」とこの3つが突出して多く、その差は僅差だった。

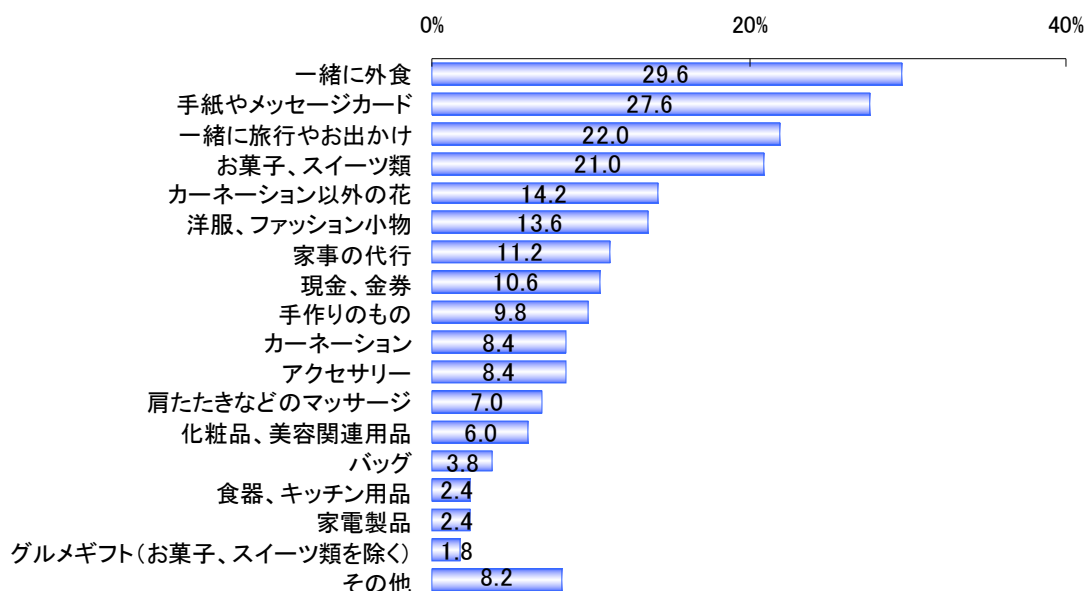
◇母の日の贈り物として、これまでに貰うこと（してもらうこと）が多かったもの（上位3つまで）（n=500）3つまで複数選択 単位：%



■一方、母の日に本当は貰いたい（してもらいたい）と思っていること上位は「一緒に外食」、「手紙やメッセージカード」、「一緒に旅行やお出かけ」

では、母親たちは本当はどのような贈り物をもraitたいと思っているのだろうか。本音を聞いたところ、1位「一緒に外食（29.6%）」、2位「手紙やメッセージカード（27.6%）」、3位「一緒に旅行やお出かけ（22.0%）」という結果となった。「一緒に外食」や「一緒に旅行やお出かけ」は、よく貰うものランキングでは7位（11.4%）と15位（2.4%）と下位に位置しており、母親が求めているものと、実際に母親が貰うものとの間にはギャップがあることが明らかとなった。

◇母の日の贈り物として、本当は貰いたい（してもらいたい）と思っているもの（上位3つまで）（n=500）3つまで複数選択 単位：％



■貰いたいもののランキングを年代別に見ると、20代、30代は「手紙やメッセージカード」が上位、40代～60代は「一緒に外食」が上位

母の日に本当は貰いたい（してもらいたい）と思っているもののランキングを年代別に見ると、1位となったものとして、20代は「手紙やメッセージカード（36.0%）」、30代も「手紙やメッセージカード（36.0%）」40代は「一緒に外食（30.0%）」、50代も「一緒に外食（41.0%）」、60代は「一緒に旅行やお出かけ（33.0%）」という結果となった。ランキングの傾向を見ると、小さい子どもを持つであろう若年層は物より気持ちのこもった「手紙やメッセージカード」を、自立した子どもを持つであろう高齢層は物より子どもと一緒に時間を過ごすことができる「一緒に外食」が上位となったと思われる。

◇【年代別】母の日の贈り物として、本当は貰いたい（してもらいたい）と思っているもの（上位3つまで）3つまで複数選択

20代 (単位: %)

1位	手紙やメッセージカード	36
2位	手作りのもの	24
3位	一緒に外食	20
4位	お菓子、スイーツ類	18
5位	一緒に旅行やお出かけ	15

30代 (単位: %)

1位	手紙やメッセージカード	36
2位	お菓子、スイーツ類	26
3位	一緒に外食	25
4位	家事の代行	19
5位	肩たたきなどのマッサージ	12

40代 (単位: %)

1位	一緒に外食	30
2位	手紙やメッセージカード	28
3位	お菓子、スイーツ類	24
4位	一緒に旅行やお出かけ	21
5位	家事の代行	18

50代 (単位: %)

1位	一緒に外食	41
2位	一緒に旅行やお出かけ	31
3位	手紙やメッセージカード	22
4位	お菓子、スイーツ類	18
5位	洋服、ファッション小物	17

60代 (単位: %)

1位	一緒に旅行やお出かけ	33
2位	一緒に外食	32
3位	カーネーション以外の花	24
4位	洋服、ファッション小物	21
5位	お菓子、スイーツ類	19

(各年代 n=100)

■母の日に貰ったもの（してもらったこと）で印象的だったエピソードは、「幼い子どもから貰う初めての贈り物」「一人暮らしや結婚を期に送られてくるようになった贈り物」など

これまでに母の日に貰った（してもらった）事柄で印象的だったことを自由回答形式で聞いたところ、「幼稚園の子どもが描いてくれた似顔絵をもらったこと」、「字が書けるようになった子どもが描いてくれた手紙」など、母親になって初めて子どもからもらった贈り物に関するエピソードや、「大学に入学し、一人暮らしを始めた年から息子からプレゼントが届くようになった」、「これまで何もくれなかった娘が、就職してから母の日に食事に連れてってくれるようになった」など、就学や就職を期に変化があったエピソードなどがあがった。ただし、自由回答では「気持ちだけで十分嬉しい」、「何を贈るか一生懸命考えてくれるだけで嬉しい」、「ありがたい言葉だけで十分」などの声が圧倒的に多かった。

母親にとっては、母の日に何を貰うか、してもらおうかということは実は本質的な問題ではなく、家族からの感謝の気持ちをきちんと伝える事のほうが重要であることがうかがえる回答結果となった。

【調査概要】

調査エリア : 全国
調査対象者 : 小学生以上の子どもを持つ20歳から69歳の母親
回収サンプル数 : 500サンプル
調査期間 : 2013年4月18日から4月19日
調査実施機関 : 楽天リサーチ株式会社

以上

【お問い合わせ先】

楽天リサーチ株式会社 マーケティング企画部
Email : pm-rsch-clama@mail.rakuten.com